

## 事業名 ユニバーサルデザインに配慮した沼津駅北口駅前広場整備事業

だれもが利用しやすい駅前広場を目指して、視覚障害者、車いす使用者、高齢者、主婦などの方々の意見を反映させながら整備を行い、利用者等から評価の高い事業

受賞機関 地域振興整備公団  
静岡東部特定再開発事務所計画課  
事業実施期間 平成13年5月～平成14年7月  
事業費 650百万円

### 事業等の特徴

ユニバーサルデザインにきめ細かく取り組んだ先進事例である。特に、計画段階から障害者、高齢者等の意見を、図面上だけでなく現地検も行ってきたきめ細かく聞いて、多くの改善、修正を行っている。

また、事業主体、設計者、施工者で意見交換会を設置し、設計の意図が施工に反映するとともに、施工者からも提案を受け、変更を行っていることも重要な取り組みである。

### 事業の概要と利用者等の評価

JR沼津駅周辺は、静岡東部拠点第一地区土地区画整理事業の一環として、整備を行ったものである。北口駅前広場は、「ふるさとの顔づくり計画」の委員会によって、環境共生型の広場、沼津らしい広場、ユニバーサルデザインを基本方針とすることが提案されて以降、計画・設計が実施された。

#### ○対象事業における取り組みのプロセス

- ・障害者などの参加による設計修正・施工者との協働と設計修正・施工中におけるユニバーサルデザインの実践。また、参加者も、最初から意見を聞いたことを高く評価している。

#### ○利用者などの評価の方法

- ・設計・施工段階で検証していただいた方々を中心として再度現地に集まり、計画・設計時点で考えていた内容を振り返りながら、まちを移動する際に留意すべき内容についても議論を行った。現時点では、視覚障害者と車いす使用者の方々へのヒアリングが終了した段階である。

#### ○事後評価

- ・視覚障害者及び車いす使用者とともに、部分的に利用勝手を改善して欲しい内容や箇所はあるものの、「自分たちの意見を十分に聞いてもらい、設計・施工に反映してもらったというプロセス」に対して参加者より高く評価されている。
- ・きめ細かく取り組みされているが、地区全体、市全体に広がるようこれらの成果をまとめている。

#### 審査委員会委員の意見等

- ・設計段階から多様な人々（障害者、高齢者などを含む）の意見を取り入れている点、施工中においてもユニバーサルデザインの共有化のための努力が積み重ねられた点を評価する。
- ・計画段階から障害者、高齢者等の意見を反映させ、整備にきめ細かく取り組み、利用者から好印象を得ていることは評価できる。
- ・デザインや運用、評価にきめ細かい配慮が行き届いている。評価表は他にも十分適用できるので、積極的な活用と必要な方策が期待される。
- ・きめ細やかに障害のある方たちから意見を求めて展開したこと、現地検を行っていること、施工中に意見交換を行って進めたことなどを評価したい。
- ・ユニバーサルデザインの思想が広がりつつある今日、幹線から枝線への拡大を期待したい。

受賞賛助会員 玉野総合コンサルタント(株)静岡支店



全景



誘導ブロックの工夫